

## 「大丈夫、心配するな、何とかなる」

校長 安藤 盛光

明けましておめでとうございます。保護者、地域の皆様におかれましては、新しい年の始まりを健やかに迎えのことに心よりお喜び申し上げます。年末・年始にかけて、天気にも恵まれ、暖かい日が続き、穏やかな新年を迎えることができました。道元は、「春は花 夏ほととぎす 秋は月 冬雪さえて涼しかりけり」と読みましたが、今冬は雪不足に悩んでいるスキー場も多いようです。皆様のお正月はいかがだったでしょうか。

さて、今年の干支（えと）は『申（さる・しん）』です。動物は『猿』になります。『申』の意味は「伸ばす」で、「草木が十分に伸びきった時期で、実が成熟して、香りと味が備わり固く殻に覆われていく時期」だそうです。

今年はスポーツの大きなイベントもあります。8月と9月にオリンピックとパラリンピックがブラジルのリオデジャネイロで開催されます。そして4年後にはいよいよ日本で、東京オリンピックとパラリンピックが開かれます。

皆さんは年の初めにあたり、勉強のこと、部活動のこと、家族のこと、友人のこと、趣味のこと、健康のことなど、今年はこれをしよう、あんなことを始めよう、こんなことを実現してみようなどと何か心に誓ったのではないのでしょうか。

私も誓いを立ててみました。4年後の東京オリンピック・パラリンピックに向け、少しでも海外からのお客さんと会話が楽しめるようになってみたいと思っています。そのために英語を勉強し直してすることにしました。昨年NHKのEテレで放送された「おとなの基礎英語」という番組100回分を録画しておきました。「この番組を繰り返し視聴する」ことが今年の目標です。

「一休さん」として親しまれている『一休宗純』禅師は、他界する直前に、「この先どうしても手に負えぬ深刻な事態が起きたら、この手紙を開けなさい。」と弟子達に一通の手紙を残したそうです。数年後、今こそ師の智慧が必要という重大な局面で、手紙が開封されました。そこには、『大丈夫、心配するな、何とかなる』と書かれていたそうです。皆さんの年始の誓いはきっと何とかなります。

ユリの花の竹細工が職員玄関の事務室カウンターに飾ってあります。岩槻区にお住まいの森屋様が、今年も手作りの竹細工を持ってきてくださいました。黒く色を付ける部分が特に苦勞されたとのこと。ご来校の際にご覧下さい。

「上機嫌は人が社交界で纏（まと）という最上の装身具の一つである」と言います。今年は誰もが機嫌良く過ごせる一年になって欲しいと願っています。本年も本校の教育活動にご支援ご協力をいただき、生徒たちの健やかな成長のために皆様方のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。